

令和 8 年 2 月 16 日(月) 発行



商大附高 だより

編集 高崎商科大学附属高等学校父母の会
〒370-0803 高崎市大橋町237-1 TEL (027) 322-2827

Congratulations on winning!



第97号
2026・2

ご挨拶



父母の会会長
庄 司 直 樹

会員の皆様には、父母の会の活動にご理解とご協力を賜りまして、心から感謝申し上げます。

本年度の父母の会の活動といたしまして幾つか紹介させていただきました。多数の出席をいただいた総会、皆様のご協力のおかげで滞りなく進行出来ました、ありがとうございます。

学年学級懇談会では、保護者の方々から「有意義で楽しく充実した意見交換が出来た」という声と「もう少し時間が欲しい」という意見を頂きました。

マナーアップ運動では、通勤で忙しい中でも道を譲ってくれる運転手さん、元氣よく挨拶を交わしてくれる子供達や、わちゃわちゃと楽しそうに登校する姿、見てい

なっていました。

コロナ禍で見合わされていた、群馬県高P連主催の総会も開催され、普段ではなかなか出会う事の無い公立校の方々と、有意義な時間を過ごす事ができ、コロナを意識せずに楽しめるようになったのだと感慨深い気持ちになりました。保護者親族の多数の方々に応援

参加して頂いた、高崎アリーナで開催されたスポーツ祭、一生懸命に競技応援する姿を見て、仲間、友情、信頼、溢れる青春のエネルギー、この経験が前を向いていく原動力になっていくのだろうと感じました。

父母の会、後援会、同窓会合同研修会等では、父母の会役員のみならず後援会、同窓会の役員の皆様との親睦も深められ楽しませて頂きました。県私立小・中・高等学校保護者会連合会主催の情報交換会や学校見学会では、他校の取り組み方や部活動発表会、施設見学会などがあり、人生観が広がる良い経験をさせて頂きました。結びに、会員の皆様のご健勝とご多幸を祈念申し上げますと共に商大附高の益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。

ご挨拶



校長
安 齊 義 宏

新年あけましておめでとうございます。

父母の会会員の皆様には、平素より本校の教育活動に対しまして、深いご理解と温かいご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

今年の干支は「午(うま)」です。午年は「力強く前進する」「活力に満ち、新しい挑戦へ踏み出す年」と言われています。まさに本校生徒たちの姿を象徴するかのような一年になることを期待しています。

さて、昨年度を振り返りますと、本校の生徒たちは、学業はもとより、部活動や各種校外活動においても目覚ましい活躍を見せてくれました。

運動部においては、野球部が創部以来初となる関東大会へ出場す

るという快挙を成し遂げました。

また、バレーボール部の春高予選決勝では、あと一歩及びませんでした。また、会場を大いに沸かせてくれました。さらに、バドミントン部、フェンシング部、アーチェリー部、空手道部など、多くの部が全国大会や関東大会へ出場し、日々の努力の成果を存分に発揮しました。

文化部においても、ペップアーツ部やバトン部、軽音楽部、吹奏楽部が華やかな演技・演奏で観る者に感動を与え、本校の活気を象徴する存在となりました。そのほかに、演劇部、放送部、文芸部、写真部、ボランティア部などがそれぞれの分野で精力的に活動し、生徒一人一人が自らの個性と可能性を伸ばしている姿が印象的でした。

また、今年度は、群馬テレビの「アニメの星」への出演や、フジテレビ「新しいカギ・ティーチャーを探せ」への参加は大きな反響を呼び、本校生徒の柔軟な発想力や表現力の高さを広く社会に示す機会となりました。

加えて、販売甲子園、ビジネスアイデア甲子園、新聞コンクール、作文コンクール、税に関する作文、ビブリオバトル、街頭募金活動な

どもにも意欲的に挑戦し、高校生ならではの躍動感と、内に秘めた大きな力を強く感じる一年でもありました。

これらの成果は、生徒自身の努力はもちろんのこと、日々寄り添い支えてくださっている保護者の皆様、そして指導に尽力する教職員への支えがあつてこそのもので、改めて深く感謝申し上げます。

新年度を迎え、生徒たちは学年が上がリ、それぞれ新たな目標や課題に向き合つていくこととなります。変化の激しい時代の中ではありますが、失敗を恐れず挑戦し、自ら考え行動できる力を身に付けてほしいと願っています。そのためにも、学校と家庭がこれまで以上に連携し、子どもたちが安心して挑戦できる環境を整えていくことが大切であると考えております。

最後になりますが、父母の会会員の皆様には、引き続き本校の教育活動に対しましてご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様のご健勝とご多幸、そして生徒たちのさらなる成長を心より祈念申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。

本部役員挨拶

「今年度をふり返つて」

副会長・三学年委員長

鶴見 愛理砂

新年あけましておめでとうございます。父母の会会員の皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

三年生の母としては、あつという間に卒業を迎えようとしていることに、寂しさを覚えつつ感慨深い思いです。

今年度最大の行事と言え、なんとと言っても九月に高崎アリーナにて行われたスポーツ祭です。役員としてお手伝いさせていただきましたが、これぞ青春！と言わんばかりにクラスが丸となり奮闘する姿、また保護者の方々が温かく熱い眼差しで観戦される姿に感動しました。

三年間の様々な思い出を糧に、卒業を迎える皆さんが希望に溢れる次なる一歩を踏み出せるよう、心より応援しております。

末筆ではございますが、会員の

皆様のご多幸と商大附高の益々の発展をお祈り申し上げます。

副会長・二学年委員長

小和瀬 健

新年明けましておめでとうございます。会員の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

今年度、父母の会では総会、学年・学級懇談会、マナーアップ運動、二年に一度の体育祭等々多くの事業を通じて親睦を深めることが出来ました。

二年生にとつては最初で最後の二日間にわたる体育祭。各クラスの特徴ある服装や勝つて喜び、負けて悔しがる生徒の姿を見ることが出来ました。ネット文化が浸透する昨今において、表情豊かな顔や大きな声で応援する姿を見ると体育祭の重要性を改めて感じることが出来ました。生徒にとつて改めて友情と絆が育まれたことと思います。開催にあたり校長先生はじめ関わって頂いた全ての方に感謝申し上げます。

最後に、会員の皆様のご健勝とご多幸、商大附高校の益々のご発展をお祈り申し上げます。

副会長・一学年委員長

荻原 陽一郎

新年あけましておめでとうございます。

一年生は中学生から高校生へと進学し、環境の変化に不安を感じながらも、それぞれの場所ですばる前に進んできた一年だったと思います。

新しい友人関係や学習内容に戸惑いながらも、自分なりの居場所を見つけてきたのではないでしようか。

そうした日々の中で楽しい出来事だけでなく、思い悩んだ時間やうまくいかなかったこともあったかもしれません。しかし、その一つ一つの経験が生徒たちの心を確かに成長させているのだと思います。

私自身も初めての役員として様々な経験をさせていただき、生徒たちの姿に学びながら、ともに成長させていたいただいた一年でした。

生徒一人ひとりが自分らしく未来へ歩んでいけるのは、先生方や会員の皆様をはじめ多くの方々の温かな支えによるものであり、そのことに心より感謝申し上げますとともに、生徒の皆さんのご多幸を

心より祈っております。

書記 清水 龍宴

スポーツ祭をふり返ります。今年度息子は三年生なので、隔年開催のスポーツ祭は二回目です。父母の会役員は、都合がつけば受付の手伝いをします。私も二回目だったので、不安なく参加して、楽しめました。

受付は、観戦に来た父兄に立ち寄ってもらい、生徒の名前の横にマーカーを入れ、リストバンドをつけてもらうという簡単な作業です。学年別・クラス別の名簿も、リストバンドも、役員が身につける名札も学校側で用意してもらえます。内容的に女性役員さんがほとんどやってくれて、私たち男どもは見ているだけ、威厳を醸し出すのが役割です(笑)。小中学校で PTA 役員をやっていた頃を考えると、とっても楽です。当日はお弁当(競技に出る場合は上履き)を持参するだけです。

注意が必要なのは、生徒の兄弟で入場できるのは未就学児ということです。他の学校に通っている兄弟や同年代の友達はいれません。いわば門前払いになります。該当

者はわずかで、説明して断る嫌な役割は先生方がやってくれますが、かなり気まずいです。どうかこの点、各ご家庭でしっかりと確認をお願いいたします。

さて、受付をしていると、平日にもかかわらず観戦に来るご父母の多いこと、ご夫婦で来る親御さん、祖父母が多いことに気づきます。子どもたちも親や祖父母が来ることを嫌がる様子はなく、むしろ、広いコート面の「次はあのあたりに出るから」と、見逃してほしくない様子です。思い思いにデザインしたクラス T シャツを着て、本気で競い合う様子は見ていて楽しいです。プログラム最終盤には父母が参加できる綱引き。私は前回怪我して出て出られなかったのですが、今回は参加して、ガチで勝負できました。いい思い出になりました。

商大附高にお世話になって、先生、生徒、親の垣根が低い親しい感じを、いい校風だと思ってきました。スポーツ祭は、そのいいところを味わえる行事だと思えます。高崎アリーナで開催というのも、オシャレな感じがします。これって子育て中に参観の楽しさを味わ

える最後のチャンスなのではないかと思えます。

次の公式行事は卒業式、早いものです。大変お世話になりました。もともと好きなのですが、商大附校での父母の会活動は楽しかったです。先生方、ご一緒した役員さんたち、そしてまだまだ可愛さが残る子どもたち。3年間楽しかったです。どうもありがとうございます！

書記 関口 美津子

新年あけましておめでとうございます。商大附高の皆様におかれましては健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

今年度をふり返って一番に頭に浮かぶのはスポーツ大会です。競技がどれも見応えがあり、応援に熱が入りました。クラス T シャツも各々工夫が凝らしてあり見るのが楽しかったです。授業公開での様子とは違い、生き生きとした生徒の姿を見ることができて嬉しく思いました。父母の会会員も参加した玉入れと綱引きでは童心に返って楽しませていただきました。校長先生をはじめとする教職員の方々、並びに父母の会会員の皆様にご尽力いただきましたことに

感謝いたします。総会や学年学級懇談会その他の行事でも大変お世話になりました。商大附高の益々のご発展と皆様にとって実り多き一年になりますようお願い申し上げます。

会計 青木 朋子

息子の希望で入学した高校で、思いがけず本部役員になりました。行事に参加することができました。

顔見知りになった生徒たちから笑顔で元氣よく挨拶が返ってきたマナーアップ運動、その子たちのお母様とも受付で言葉を交わしたスポーツ祭など、今年度も楽しい思い出がたくさんありました。

中でもフジテレビの人気番組の「新しいカギ」の出演は、一番の思い出です。息子の友人が次々と映り、また顧問の先生が若々しい茶道部も選ばれ、部員たちの中に息子の姿も時々映り、高校生活の良い記念となりました。

また息子は茶道部の仲間たちとボランティア活動に励んだ一年間でもありました。良い仲間たちと出会えたことを嬉しく思います。負けず嫌いな息子ですが、この三年間温かく見守ってください

担任の先生方、常に親身にご指導くださった顧問の先生方、本当に感謝しております。

来年度も皆様に佳き日々が訪れますようお願い申し上げます。

会計 山下 由佳

新年おめでとうございます。父母の会会員の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

今年度を振り返りますと、部活動での生徒達の活躍と二日間におたって開催されたスポーツ大会が特に印象に残っております。

観戦した部活動の試合では、仲間と声を掛け合いながら競技に真剣に取り組み、最後まで全力を尽くす姿に、大変心を打たれました。湧き上がる歓声と輝く笑顔、そして悔しさに涙する姿からは、結果だけでなく、そこに至るまでの努力や強い絆を感じることができ、私自身も前向きな気持ちにさせてもらえました。

スポーツ大会では、綱引きに参加させていただきました。数十年ぶりの綱引きは、想像以上に体力の衰えを感じましたが、懐しさを味わい、楽しい思い出となりました。

最後になりますが、皆様のご多幸と商大附高の益々のご発展をお

祈り申し上げます。

三年生保護者より

旅立つ我が子へのメッセージ



F316 懸川 恵子

三年前の春、新しい環境へのたくさんの希望と目標、そして少しの不安を胸に高校生活が始まりましたが、忙しくも充実した日々を送る姿を見ることができました。

高校生活を送るなかで、楽しいことや嬉しいことだけではなく、辛かったことや理不尽に思うこともあったでしょう。それでも、何事にもしつかりと向き合い、自分の目標に向かい強い意志を持って歩んでいく姿に、芯の強さとたくましさを感じています。そして、常に思いやりと感謝の気持ちを持ち、きちんと言葉と態度で伝えてくれる姿勢は、私たち家族だけではなく、周囲の方々へも伝わり信頼を得ているのだと思います。

春からは新しい生活が始まります。これから訪れるたくさんの方の出会いや様々な経験は、更に自分を

成長させてくれることでしょう。目標に向かって自分らしく歩んでいってください。卒業おめでとう。

F319 稲葉 ゆきこ

高校三年間、野球部で過ごした日々は決して順風満帆ではありませんでした。一年の秋、ノックを受けた際に肩を負傷し、手術と長いリハビリ生活を経験しました。

思うように野球ができない日々が続き、大好きだった野球を嫌いになり、辞めたいと悩んだこともありました。それでも自分自身と向き合い、逃げずに踏ん張り、最後までやり遂げた姿は親として誇りです。その姿から、結果だけでなく過程を大切にし、困難から逃げずに立ち向かう強さを学ばせてもらいました。

進学に向けては、担任の先生や進路指導の先生、試験対策に力を

尽くしてくださった教科担当の先生方に支えられ、自らの努力で合格を掴み取りました。

大学では、再び大好きな野球を心から楽しみ、笑顔あふれる充実した日々を送ってください。応援します！

F311 甘田 啓子

新しい制服を着て入学式に出たのがついこの前だと思つたらもう卒業なんですね。卒業おめでとう。

大切な仲間と過ごした三年間は充実していましたか？毎日泥だらけで頑張る姿を私達は見てきました。先輩後輩と行った東北遠征や愛知や長野新潟など練習試合で行きましたね。親の知らないところで思い悩み苦しんだこともあったでしょう。その一つ一つが君の成長の糧となったと思っています。

春からは親元を離れての生活が始まります。新しいことに挑戦し自分で道を切り拓いていく強い力をつけて欲しいと思っています。新しい環境で新しい仲間と自分の目指す所まで努力できると信じています。君の夏は終わってしまっただけで新しいゲームがまた始ま

ります。常に周りに感謝し、謙虚な姿勢で取り組むことが大切です。自分を信じて夢に向かって。応援しています。

S311 高見純子

夢に向かって新しい世界へ旅立つ我が子へ。

あなたの成長を見守ることが出来た3年間は私にとってもかけがえない時間でした。

学校行事や吹奏楽の舞台、役員活動で出会った交流の数々など親の私まで一緒に青春を歩ませてもらった気がします。本当に良い高校に出会えたこと、息子を想い導いて下さった先生方、いつも楽しく笑い合った仲間から感謝しています。

ここから旅立つ今、期待と不安が心の中にあると思いますが大丈夫！たとえ失敗しても大丈夫！遠回りも全て経験という宝物になります。ここで学んだ自分で考える力とやり抜く力、そして挑戦する意欲がこれからのあなたを支えてくれます。家族はいつでもいつまでもずーっと味方です。一番の応援団です。

自分らしさを忘れず出会う人との会話を楽しみ、感謝を言葉にできる大人になってください。これからの挑戦に心いつぱいのエールを込めて見送ります。卒業おめでとう。

学校(大学)選びのチェックポイント



① 専門性や知識を活用する力が身につくか？

- ☐ 将来役立つ力が身につく専門教育があるか？
- ☐ 教育内容がアップデートされているか？
- ☐ ICTを活用した授業の工夫があるか？
- ☐ 成長が目に見えて分かる仕組みがあるか？
- ☐ 学生の成長を後押しする指導が行われているか？
- ☐ 学習情報を指導に生かすシステムがあるか？
- ☐ 正課の授業以外に成長につながる活動があるか？

② 成長を社会に結びつけるキャリア形成支援を行っているか？

- ☐ 1年次からキャリア支援が受けられるか？
- ☐ どんな資格を取ることができるか？
- ☐ 就職サポート体制が手厚いか？

③ グローバルスキルが身につくか？

- ☐ 留学制度は充実しているか？
- ☐ オンラインを活用した交流があるか？
- ☐ コミュニケーション重視の英語教育が行われているか？

④ 入試の制度は把握しているか？

- ☐ 入試の制度は？(方法・受験会場など)

⑤ 費用の支援制度が充実しているか？

- ☐ 経済支援制度は充実しているか？(奨学金など)

【進学状況】

保護者の皆様におかれましては日頃より大変お世話になっております。進学指導主事の佐藤と申します。皆様がこれをご覧になるこ

ろはすでに共通テストも終わり、入試がこれからだというご家庭もいらっしゃるのではないのでしょうか？学習・体調・精神面をしっかりと整えていただき本番の試験に臨んでほしいと思います。

総合型選抜・推薦入試も一段落したところで12月7日現在の国公立大学の合格者です

が、群馬大学3名、群馬県立女子大学2名の計5名となっています。例年に比べてやや少ないですが、一般入試に向けて努力している生徒が今年は例年に増して多くなっており、共通テストも久しぶりに3桁である105名出願をしております。まだまだこれから本番というお子様のいるご家庭も以前より多いとお察しいたします。学習室は平日・休日と開いておりますので是非ご利用いただきたいと思います。また、今年度の

国立・公立大学の総合型選抜の傾向として、評定平均がある程度考慮して合否の判定を行っているのではという話を本校に訪問された教育関係の企業の方から伺いました。評定の基準がないとはいえ、受験に向かうにあたってやはり日々の学校での学習を大切にするべきだと痛感しております。

私立高校の特性でもありますが、年内入試でクラスのはぼ全員の進路先が決定しているところ、決まっていないところ、かなり様子が異なっています。2学期最後の学年集会で『自分の進路が決まってもクラスや部活の仲間が合格するまでみんなで応援しよう』という話と、『合格した生徒は、周りの人々（保護者の方や担任の先生、友人など）に感謝をして、きちんと卒業しよう』という話をさせていただきました。卒業まで残りわずかになってしまいました。ここで油断することがないように、日々の生活をしつかり送っていただくさい。これから受験という生徒もいます。保護者の方々もお子様が万全の態勢で入試当日の朝を迎えられるようにサポートをお願いします。

また、1年生・2年生についても遅かれ早かれ自らの進路をきちんと決めなければいけない時期がやってきます。残念ながら大学や短大・専門学校からの訪問で、進学はしたものの途中でやめてしまいう学生の話も聞くことがあります。ぜひ以下の3つの条件を踏まえて進路選びをしていただきたいと考えております。

①人まかせにしない：最終的に進路を決定するのは自分自身です。

他人の意見だけで進路先を決めるのではなく、自分自身の言葉でこの学校を選んだ理由を答えられるにしたいと思います。

②興味のないことへの安易な選択をしない：将来役に立ちそうだから、収入がよさそうだからという理由だけでは絶対に続きません。自分が好きなこと興味があることが何かを考えて進路選択を行いましょう。

③ネームバリュー優先にしない：学校の名前だけで進路を決定する人もまだ多いです。その学校で何が学べるか、どんなことができるのかを重視して学校を考えましょう。

高校でどんな勉強をして、大学

でどんな学問を習得し、社会人としてどんな経験を積みたいか、面接のときにこの3つを踏まえて志望理由を作るように伝えていきます。AIの発達で簡単に文章が作れる時代になりました。だからこそ、自分だけの経験を語ることでできる受験生を目指してほしいと思います。

（進学指導主事・佐藤 正樹）

【就職状況】

父母の会会員の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。この度、職業指導主事という新たな役職に就任し身が引き締まる思いでいっぱいですが、多方面からのお力添えを賜り何とか責務を全うすることができそうです。この場を借りて厚く御礼申し上げます。

今年度、各企業からいただいた求人は二次募集まで含めると1300件以上ありました。全国的に見ても高卒採用の需要はここ10年間で約3倍も増加しており、完全に売り手市場となっています。高

校生の進学傾向が強まっている昨今、どこも人手不足のようで、現在でも数社のリクルーターの方から「まだ就職が決まっていない生徒さんはいませんか？」と連絡をいただいている状況です。

今年度の3年生は就職希望者が31名（男子14名・女子17名）と例年に比べて非常に少ないこともあり、12月までにそのほとんどが内定をいただいております。内訳は製造業11名・サービス業9名・金融2名・医療関係2名・公務員4名となっています。

今年度の就職指導の取り組みは、まず4月に講師の先生を呼んで面接とビジネスマナーの講習会を実施し、私も生徒と一緒に受講しました。大ベテランでなかなか厳しい先生でしたが、生徒たちも緊張感を持ち、真剣な眼差しで取り組んでいました。この時にこれから始まる就職活動への覚悟が身についていると思います。6月には就職ガイダンスを実施し、17の企業から企業説明や仕事内容の紹介をしていただきました。1・2年生と保護者の参加も募り、大雨の日でしたが各社採用担当者の熱意もあり大盛況で終えることができました。→



就職ガイダンス

月に入ってから紙ベースの求人票をすべて『Handy進路資料室』でデータ化し、校外でもスマホやタブレットから閲覧できるようにしました。さらに指定校推薦などの進学情報と連携することで進学希望の生徒にも就職の情報を提供できるようになりました。これは現在2年生も登録しているもので、次年度に向けての進路対策が今からできるようになっています。また、あの難しい用語だらけの求人票も項目ごとにまとめられ、企業検索も簡単にでき、一覧も非常に見やすくなりました。このように周囲の環境はかなり進歩していますが、高校生の求人票解禁日(7/1から)や就職活動の一人

一社制(9/16から)は昔と変わリません。これは文部科学省と厚生労働省の取り決めにより、就職活動が学業の支障にならないようにとの配慮で、都道府県ごとに決定しています。就職のミスマッチを防止するため近年これを見直している県もいくつかありますが、今年度も群馬県は現行ルールのままです。この慣行により高校生は7月1日に解禁された求人票を見てからわずか数週間で受験する企業を1社に絞らなければならぬというのが現状です。自分の人生を左右する就職先をこの短期間で決めなければならないというのは非常に酷ではないでしょうか。だからこそ就職活動に向けた準備を

早めにしておくべきです。「どのような企業から求人が来ているのか」「自分に向いている職種とは何か」。今後『Handy進路資料室』は全学年が閲覧できるようにしていく予定です。また、本校の進路資料室には過去4年間の求人票の原本と受験報告書が保管してあります。是非これらも活用し、その日に備えて欲しいと思っています。

これからの進路を安心して任せられる学校を目標に尽力して参りますので、どうかご家庭からもご協力の程宜しくお願い致します。

(職業指導主事 砂山 雄一郎)

生活指導部より

生成AIの活用は、最適な学びや教員の業務効率化に役立つ一方で問題も抱えています。

まず、学業における不正行為です。生成AIが課題などを自動生成することで、生徒が自ら思考し表現する機会が奪われ、学習の質が低下する恐れがあります。次に情報リテラシーの育成不足です。誤った情報を生成する可能性があります。



り、生徒が生成された情報の信頼性を批判的に評価し、ファクトチェックを行う能力が不可欠になります。さらに、AI技術は急速に進歩しており、教員がその特性を理解し、倫理的な使い方を含め適切に指導するための知識やスキルが不足しています。

これらの問題に対し、文部科学省は「人間中心の原則」に基づき、生成AIの活用ガイドラインを示しています。安全性を考慮した適正利用や情報セキュリティの確保を重要な留意点とし、AI利用を禁止するのではなく生徒の資質・能力育成のための手段と位置づけています。

AIはあくまでも「ツール」のひとつです。相談相手の一人として「AIさん」の意見を参考にする程度がよいかもしれません。

(生徒指導主事 御供 聖)

令和6年度 決算について

学校法人 高崎商科大学

2024 (R6) 年度決算については、2025年6月26日開催の理事会において承認され、同日開催の評議員会に報告されました。

現在、本法人の経営状態は、日本私立学校振興・共済事業団が示す「定量的な経営判断指標に基づく経営状態の区分」に照らし合わせた場合、「Aランクの状態」(正常状態)に位置しております。この状態は、23年間連続で維持しており、財政基盤は安定していると言えます。今後もこの健全な経営状態を維持するよう、より魅力ある学園とするため教育研究内容の充実や施設設備の整備に引き続き努力してまいります。なお、財務関係書類については情報公開をおこなっており、学校法人高崎商科大学ホームページ及び各設置学校内の所定の場所で閲覧することができます。

① 資金収支計算書の状況

資金収支計算書は、その年度の諸活動に対応する資金の収入と支出のほか、その年度内において現実に収納し、また支払った資金の収入と支出について、その顛末を明らかにする書類です。

収入については、学生生徒等納付金収入、寄附金収入等の科目で減少が見られましたが、補助金収入や資産売却収入、受取利息・配当金収入等で増加し、予算に対して178,544千円増の5,235,713千円となりました。また、支出については、人件費支出、教育研究経費支出、管理経費支出、施設関係支出及び設備関係支出等で減少した結果、「翌年度繰越支払資金」は予算に対し227,776千円増加し、2,287,130千円となりました。

資金収支計算書

(単位：円)

収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	1,740,851,000	1,720,554,020	20,296,980
手数料収入	49,780,000	53,240,000	△3,460,000
寄附金収入	15,330,000	14,897,000	433,000
補助金収入	749,450,000	814,596,478	△65,146,478
資産売却収入	0	99,200,000	△99,200,000
付随事業・収益事業収入	21,600,000	20,030,451	1,569,549
受取利息・配当金収入	27,420,000	35,652,756	△8,232,756
雑収入	72,204,873	73,460,958	△1,256,085
借入金等収入	0	0	0
前受金収入	317,000,000	300,396,500	16,603,500
その他の収入	150,241,829	156,290,255	△6,048,426
資金収入調整勘定	△402,815,500	△368,711,795	△34,103,705
前年度繰越支払資金	2,316,106,633	2,316,106,633	
収入の部 合 計	5,057,168,835	5,235,713,256	△178,544,421
支出の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
人件費支出	1,509,705,497	1,503,948,808	5,756,689
教育研究経費支出	729,341,359	688,185,796	41,155,563
管理経費支出	193,697,379	163,656,185	30,041,194
借入金等利息支出	2,149,820	2,149,820	0
借入金等返済支出	73,328,000	73,328,000	0
施設関係支出	159,092,400	140,473,994	18,618,406
設備関係支出	70,670,200	50,868,055	19,802,145
資産運用支出	284,753,892	372,668,956	△87,915,064
その他の支出	98,204,746	95,793,878	2,410,868
〔予備費〕	0		0
資金支出調整勘定	△123,128,728	△142,490,586	19,361,858
翌年度繰越支払資金	2,059,354,270	2,287,130,350	△227,776,080
支出の部 合 計	5,057,168,835	5,235,713,256	△178,544,421

② 事業活動収支計算書の状況

事業活動収支計算書は、その年度の「教育活動」、「教育活動以外の経常的な活動」及び「前記二つ以外の活動」に対応する事業活動収入及び事業活動支出の内容を明らかにするとともに、基本金組入額を控除したその年度の諸活動に対応する全ての事業活動収入及び事業活動支出の均衡状態を明らかにし、学校法人の経営状況を把握するための書類です。

2024（R6）年度の事業活動収入は予算に対して60,465千円増の2,737,461千円、事業活動支出は予算

に対して84,246千円減の2,631,990千円で、基本金組入前の当年度収支差額は105,471千円の収入超過となりました。また、施設・設備整備、育英基金等の基本金組入は135,251千円となり、基本金組入後の当年度収支差額は29,780千円の支出超過となりました。前年度繰越収入超過額の261,881千円に基本金組入後の収支差額を加え、翌年度繰越収支差額は232,100千円の収入超過となりました。

事業活動収支計算書

(単位：円)

科 目			予 算	決 算	差 異
教育活動収支	収入の部	学生生徒等納付金	1,740,851,000	1,720,554,020	20,296,980
		手数料	49,780,000	53,240,000	△ 3,460,000
		寄附金	15,480,000	15,476,418	3,582
		経常費等補助金	749,450,000	813,835,478	△ 64,385,478
		付随事業収入	21,600,000	20,030,451	1,569,549
		雑収入	72,204,873	73,460,958	△ 1,256,085
		教育活動収入計	2,649,356,873	2,696,597,325	△ 47,231,452
	支出の部	人件費	1,518,324,288	1,512,567,599	5,756,689
		教育研究経費	964,475,008	921,473,791	43,001,217
		管理経費	208,294,725	178,260,626	30,034,099
		徴収不能額等	4,791,000	4,791,000	0
		教育活動支出計	2,695,885,021	2,617,093,016	78,792,005
教育活動収支差額		△ 46,519,148	79,504,309	△ 126,023,457	
教育活動外収支	収入の部	受取利息・配当金	27,420,000	35,652,756	△ 8,232,756
		その他の教育活動外収入	0	0	0
		教育活動外収入計	27,420,000	35,652,756	△ 8,232,756
	支出の部	借入金等利息	2,149,820	2,149,820	0
		その他の教育活動外支出	0	0	0
		教育活動外支出計	2,149,820	2,149,820	0
	教育活動外収支差額		25,270,180	33,502,936	△ 8,232,756
経常収支差額		△ 21,248,968	113,007,245	△ 134,256,213	
特別収支	収入の部	資産売却差額	0	0	0
		その他の特別収入	210,000	5,211,714	△ 5,001,714
		特別収入計	210,000	5,211,714	△ 5,001,714
	支出の部	資産処分差額	12,747,793	12,747,793	0
		その他の特別支出	0	0	0
		特別支出計	12,747,793	12,747,793	0
	特別収支差額		△ 12,537,793	△ 7,536,079	△ 5,001,714
〔予備費〕		5,454,409		5,454,409	
基本金組入前当年度収支差額		△ 39,241,170	105,471,166	△ 144,712,336	
基本金組入額合計		△ 204,100,400	△ 135,251,667	△ 68,848,733	
当年度収支差額		△ 243,341,570	△ 29,780,501	△ 213,561,069	
前年度繰越収支差額		261,881,016	261,881,016	0	
基本金取崩額		0	0	0	
翌年度繰越収支差額		18,539,446	232,100,515	△ 213,561,069	

③ 貸借対照表の状況

貸借対照表は、会計年度末における資産、負債、基本金及び繰越収支差額を把握し、学校法人の財政状態を表わす書類です。

【資産の部】

「有形固定資産」では、大学・短大部門は高圧ケーブル更新、3号館廊下窓ガラス更新、空調設備更新、校用車用カーポート新設等、高校部門は並榎キャンパス部室棟新築、武道館空調追加設置、トレーニング機器購入、売店リニューアル改修等、幼稚園部門はキューピクル更新で資産の増加がありました。減価償却等もあり、合計で対前年度67,621千円の減少となりました。

「特定資産」では、周年事業や施設設備拡充資産、退職給与引当への増加により、対前年度122,668千円の増加となりました。

「その他の固定資産」では、新たに資金運用を開始したことに伴う有価証券の増加により、対前年度54,115千円の増加となりました。

この結果、「固定資産」全体では対前年度109,162千円の増加となり、本年度末9,641,349千円となりました。

「流動資産」では、有価証券購入に伴う現金預金等の減少を学生生徒等納付金等の収入がカバーし、対前年度8,641千円増加し、本年度末2,379,446千円となりました。

この結果、総資産は、前年度末に比較して117,803千円の増加となり、本年度末12,020,796千円となりました。

【負債の部】

「固定負債」では、日本私立学校振興・共済事業団からの長期借入金が増加したことにより、対前年度で62,393千円減少し、本年度末436,071千円となりました。

「流動負債」では、前受金や未払金、預り金が増加したことで、対前年度で74,726千円増加し、本年度末540,948千円となりました。

この結果、総負債は、前年度末に比較して12,332千円増加し、本年度末977,019千円となりました。

貸 借 対 照 表

(単位：円)

資 産 の 部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定資産	9,641,349,515	9,532,187,512	109,162,003
有形固定資産	7,357,625,146	7,425,247,110	△ 67,621,964
特定資産	1,021,537,164	898,868,208	122,668,956
その他の固定資産	1,262,187,205	1,208,072,194	54,115,011
流動資産	2,379,446,805	2,370,805,389	8,641,416
資産の部合計	12,020,796,320	11,902,992,901	117,803,419
負 債 の 部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定負債	436,071,388	498,465,317	△ 62,393,929
流動負債	540,948,195	466,222,013	74,726,182
負債の部合計	977,019,583	964,687,330	12,332,253
純 資 産 の 部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
基本金	10,811,676,222	10,676,424,555	135,251,667
繰越収支差額	232,100,515	261,881,016	△ 29,780,501
純資産の部合計	11,043,776,737	10,938,305,571	105,471,166
負債及び純資産の部合計	12,020,796,320	11,902,992,901	117,803,419

2025 autumn-winter 学園トピックス

- 芸術鑑賞会
- 国際交流
- 土曜講座「さつまいも & 乾燥芋づくり」
- 第24回全国高等学校ビジネスアイデア甲子園
- 高校生販売甲子園 特別賞を受賞！
- 第24回ビジネスアイデアコンテスト

芸術鑑賞会

9月24日(水)に芸術鑑賞会が行われました。狂言師・和泉元彌さんを招き、演目に加え、生徒参加型のワークショップで、発声の仕方や基本の「型」を学びました。



国際交流

スリランカやインドからの中学生や高校生を迎え、国際コースの生徒たちと交流を深めました。箸で豆をつまむゲームやドッジボール、書道体験などで大いに盛り上がり、楽しく有意義な時間となりました。



土曜講座

『さつまいも＆乾燥芋づくり』

今年度、土曜講座で『さつまいも＆乾燥芋づくり』を吉岡町のかしのへき（平形和志代表）に協力いただき、開講しました。1年間の活動で6次産業（1次産業（農業）×2次産業（加工）×3次産業（販売））の全過程を体験することができました。

6月に苗植え、7月に畑の除草、9月にさつまいもの収穫、11月に乾燥芋づくり、12月にパッケージのデザイン作成と販売会を行いました。

この体験講座を通じて、農家の大変さやありがたさ、加工のこだわり、販売の楽しさを知ることができました。講座での経験が進路選択の一助になり、地域への愛着につながれば嬉しいです。



② 除草(7月5日)



③ 収穫(9月27日)

④ 干し芋づくり(皮むき・干し)
(12月6日・12月20日)⑤ パッケージデザイン作成
販売会(12月27日)第24回全国高等学校
ビジネスアイデア甲子園

2年進学コース「総合的な探究の時間」の成果物として応募した第24回全国高等学校ビジネスアイデア甲子園（大阪商業大学主催）において、学校賞に選ばれ、12月19日（土）に開催された表彰式に参加してきました。



高校生販売甲子園 特別賞を受賞！

11月15日(土)・16日(日)に開催された「第 18 回熱血！高校生販売甲子園」に参加しました。この大会は高校生が考案した商品を2日間で販売し、優勝を競い合う大会です。本校参加生徒は高崎産のうどんをマールにアレンジした「高崎うまあふあ」と「うんめえ菓子」を販売しました。残念ながら優勝には届きませんでしたが、特別賞(高崎えびす講市実行委員会賞)を受賞しました。



第24回 ビジネスアイデアコンテスト

高崎商科大学・高崎商科大学短期大学部 社会連携センター主催の「第 24 回ビジネスアイデアコンテスト」に参加しました。今回は、県内外の大学生・短大生・高校生から合計 52 組の応募があり、8 組が最終審査(プレゼンテーション)に進みました。本校総合ビジネス科 1 年生 3 名(3 組)が最終審査に挑んだ結果、最優秀賞 1 名・しのめ信用金庫理事長賞 1 名・入賞 1 名という結果になりました。



2025 関東大会・国体・全国大会 出場結果報告



硬式野球部

R7. 8. 9～8. 21 令和七年度秋季西毛リーグ 優勝

R7. 9. 6～10. 5 第78回秋季関東地区高等学校野球大会群馬予選

準優勝 2回戦 対勢多農林 10対0 (5回コールド)
 3回戦 対太田東 4対0
 準々決勝 対関学大附 4対1
 準決勝 対前橋商業 6対3
 決勝 対桐生第一 2対3



R7. 10. 18～10. 26 第78回秋季関東地区高等学校野球大会 (山梨県開催)

1回戦 対横浜 4対5 (9回サヨナラ)



アーチェリー部

R7. 11. 15～16 令和7年度第44回関東高等学校アーチェリー選抜大会

男子個人 5位 牧口優斗(F2-10) 9位 指出峻亮(F2-6)

女子個人 17位 清水沙蘭(F2-4) 17位 磯部ほのか(S2-2)

R8. 3. 24～26 令和7年度全国高等学校アーチェリー選抜大会

(出場予定) 男子個人 指出峻亮(F2-6) 牧口優斗(F2-10)

女子個人 清水沙蘭(F2-4) 磯部ほのか(S2-2)



バドミントン部

R7. 9. 26～10. 1 第79回国民スポーツ大会バドミントン競技大会

少年女子 2回戦 相川和葉(F3-10)・磯野友香(F2-1)

R7. 12. 19～12. 20 令和7年度関東高等学校選抜バドミントン大会

男子シングルス ベスト16 後藤達人(F2-6)

1回戦 村山 蓮(F2-6)

男子ダブルス 1回戦 後藤達人(F2-6)・村山 蓮(F2-6)

女子シングルス 1回戦 磯野友香(F2-1)

女子ダブルス ベスト16 新井爽月(F2-5)・磯野友香(F2-1)

1回戦 井上舞桜(F1-8)・久保奈津(F1-4)

R8. 3. 24～3. 26 令和7年度全国高等学校選抜バドミントン大会

(出場予定)

男子学校対抗 後藤達人(F2-6)・新井佑翼(F2-7)・村山 蓮(F2-6)・齊藤聖矢(F2-6)・戸井田朋也(F2-2)・権田葵斗(F1-5)

女子学校対抗 新井爽月(F2-5)・磯野友香(F2-1)・岩間夕奈(F2-11)・山本佑月(S2-1)・井上舞桜(F1-8)・吉井蒼葉(F1-9)・原 心夢(F1-9)・久保奈津(F1-4)



フェンシング部

R7. 11. 20～21 令和7年度全日本フェンシング選手権大会・団体戦

女子フルーレ団体 ベスト16

齋藤伽蓮(F2-5)・加藤里菜(F2-7)・並木胡桃(F2-2)

木村娃玖愛(F1-8)

R7. 12. 26～27 令和7年度全日本フェンシング選手権大会・個人戦

女子エペ 50位 齋藤伽蓮

女子フルーレ 62位 木村娃玖愛

R8. 1. 17～18 第45回関東高等学校選抜フェンシング大会

女子フルーレ団体 優勝

齋藤伽蓮(F2-5)・加藤里菜(F2-7)・並木胡桃(F2-2)・

木村娃玖愛(F1-8)・米山美羽(F1-3)

男子サーブル団体 補充校決定戦敗退

山口政宗(F2-8)・木樽隆詩(F2-5)・金井惺(F2-6)・

横林悠太(S2-2)・三木瑛太(F1-9)

R8. 3. 24～26 第50回全国高等学校選抜フェンシング大会

(出場予定) 女子フルーレ団体・女子サーブル団体



ペッパアーツ部

R8. 2. 1 第9回カラーガード・マーチングパーカッション全国大会

高等学校の部 銀賞

中宮麻友(S3-1)・市地結衣(F3-2)・今井夕月(F3-3)
 阿藤千歩(F3-8)・櫻田若菜(F3-8)・鬼形菜由(S3-1)
 木島知香(S3-1)・倉林萌華(S3-1)・津久井優和(S3-2)
 若松あやめ(S3-2)・小林愛音(F2-4)・石塚万葉(F2-6)
 櫻井優花(F2-6)・後藤愛佳(F2-7)・広井花音(F2-10)
 霞 沙彩(F2-11)・神 百花(F2-11)・三津田敏子(F2-11)
 小林音衣(S2-2)・山田愛乙美(F1-1)・戸井田藍空(F1-2)
 茂木真夢(F1-2)・石田日和(F1-5)・井上真耶(F1-5)
 中曽根蘭(F1-5)・入山美咲(F1-8)・橋爪亜子(F1-8)



空手道部

R7. 10. 5~10. 7 第79回国民スポーツ大会空手道競技会

少年男子組手 出場 金井侑晟(F3-10)

R8. 1. 17~1. 18 令和7年度第34回関東高等学校空手道選抜大会

北ブロック 女子個人組手-53kg級 準優勝 田中恋音(F2-8)

北ブロック 女子団体組手(5人制) 第3位

田中恋音(F2-8)・薄井那菜(F2-2)・島田千桜(F2-10)・芹沢音歌(F2-9)
 川田真生(F1-5)・徳井彩姫(F1-5)・菊池理々夏(F1-6)・反町衣那(F1-9)

北ブロック 男子団体組手(3人制) 出場

天野聖成(F2-6)・井上百合也(F1-7)・大塚淳生(F1-8)

R8. 3. 23~3. 26 令和7年度第45回全国高等学校空手道選抜大会

(出場予定)

女子個人組手-53kg級 田中恋音(F2-8)

女子団体組手(5人制)

田中恋音(F2-8)・薄井那菜(F2-2)・島田千桜(F2-10)・
 芹沢音歌(F2-9)・川田真生(F1-5)・徳井彩姫(F1-5)・
 菊池理々夏(F1-6)・反町衣那(F1-9)



バトントワリング部

R7. 10. 5 第60回バトントワリング関東大会

銀賞 石井星風(F3-9)・小澤ななみ(F2-4)

川野由紗(F2-4)・宮一結愛花(F2-5)

齋木芽衣(F2-6)・木村美春(F2-8)

天田莉央(F2-10)・近藤花連(F2-10)



放送部

R8. 1. 25 第23回関東地区高等学校放送コンクール

オーディオメッセージ部門

新妻大輝(F2-3)・山田航平(F2-3)・

加藤 葵(F1-3)・竹内菜菜(F1-3)・

内山心愛(F1-4)・力武怜愛(F1-4)・

大山慶晃(F1-5)・神戸純音(S1-1)



編集後記

時間の流れが驚くほど速くなり、社会の変化もそれに合わせてどんどん加速しているように感じます。「タイパ」という言葉が自然に使われるようになり、短い時間で効率よく情報を集め、すぐに結果を求めることが当たり前になりました。「時は金なり」という言葉が示すように、それも確かに一つの真実なのだと思います。それでも、どこかに小さな違和感が残ります。

本当に「速ければいい」のかな、と。最近、タモリさんが「面倒だからいいんじゃない。」と語るCMがありますが、あの言葉に共感を覚えます。

何日も何か月もじっくり時間をかけ、手間をかけて手に入るものこそ、真に必要な、価値あるものなのかもしれません。もしそんな“時間をかける喜び”を感じられるものに出会えたなら、人生は少し豊かに感じられる気がします。

皆さんは、いかがでしょうか。(教頭 大澤)